

平成30年度愛知県高等学校新入体育大会フェンシング競技大会要項

主催 愛知県高等学校体育連盟  
後援 愛知県教育委員会  
愛知県体育協会、愛知県フェンシング協会

1. 期 日 平成30年11月17日(土) 10時00分より  
フルーレ個人対抗戦及びフルーレ学校対抗戦  
平成30年11月18日(日) 10時00分より  
エペ・サーブル個人対抗戦及びエペ・サーブル学校対抗戦

2. 会 場 知多市民体育館(知多市緑町5) Tel 0562-33-3361

3. 参加資格 ①愛知県高等学校体育連盟加盟校の生徒であること。  
②学校長の出場認知証明のあるもの。(健康診断実施のこと)  
③全日制課程と定時制課程及び通信制課程との混成チームは出場できない。  
④本校と分校との混成チームの出場はできない。  
ア. 年齢は4月2日を起算とし、1年生は17歳未満とする。2年生は18歳未満とする。  
但し、同一学年での出場は1回限りとする。  
イ. 転校後6ヶ月以内の者は出場できない。(但し、やむを得ない場合、県高体連  
会長が認めた場合はこの限りではない。)  
ウ. 愛知県フェンシング協会の登録者であること。  
エ. その他、全国高等学校総合体育大会の参加要項に準ずる。

4. 競技規則 (公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部規則による。

5. 競技方法 全試合電気用具を使用する。

①個人対抗

ア. 男子・女子ともプール及びエリミナシオンディレクト混合方式とする。  
イ. 種目は、男女ともフルーレ・エペ・サーブルとする。但し、エペ・サーブル  
の両種目には出場できない。  
ウ. プール方式の場合、実働3分間5本勝負とする。  
エ. エリミナシオンディレクト方式の場合、準決勝までは実働3分間2セット  
の10本勝負、準決勝から実働3分間3セット(セット間には1分間の休憩)  
の15本勝負とする。

②学校対抗

ア. 1チーム5名編成で、3名の選手によるリレー方式とする。(1試合実働3分)  
イ. 男女とも9試合目で45本を先取した方、または、9試合目が終了した時点で得点の  
多い方を勝ちとする。  
ウ. 種目は、男女ともフルーレ・エペ・サーブルとする。但し、エペ・サーブル  
の両種目には出場できない。

6. 参加申込 所定の用紙により、学年を記し1部を作成し、平成30年11月9日(金)までに  
競技分担金を添えて下記に申し込むこと。(備考欄に出場種目を明記のこと。F・E・S・団)  
(学校対抗戦においての出場種目も○印の横に明記すること)  
至学館高等学校(〒461-0047 名古屋市東区大幸南2-1-10) 磯部 一哉 宛

7. 競技分担金 1人 700円

8. 表彰

①個人対抗

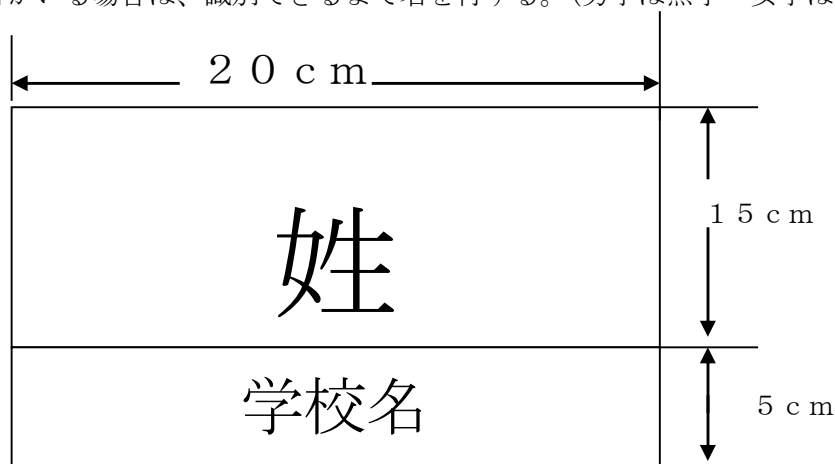
ア. 優勝者に対して賞状及びメダルを授与する。  
イ. 準優勝者、3位者に対して賞状を授与する。

②学校対抗

ア. フルーレ優勝校に対して賞状、優勝盾及びメダルを授与する。  
イ. エペ・サーブル優勝校に対して賞状を授与する。  
ウ. 準優勝校、3位校に対して賞状を授与する。

## 9. 用具検査・服装等

- ①用具検査は、メタルジャケット・マスクビブ・カフのみ当日試合開始前に行なう。
  - ア. 競技中の傷病、傷害などの応急処置は主催者側で行なうが、その後の責任は負わない。
  - イ. 引率責任者は、参加校職員がこれにあたり、選手の行動に責任を負う。
  - ウ. 試合中の用具の破損は選手の責任とする。なお、電気用具の予備は必ず準備すること。
- ②服装等の注意事項
  - ア. 上着の中には必ずプロテクター（F I Eユニフォームにおいても）を着用し、女子においては硬質材でできた胸当てを両胸に着用すること。
  - イ. 選手は頭髮に注意し、試合に支障のないようにすること。特に頭髮がメタルジャケットの表面にかからないようにすること。
  - ウ. ゼッケンを次のように作成し、各自後ろ足の腿の外側に必ず付け、同一校に同姓の者がいる場合は、識別できるまで名を付する。（男子は黒字・女子は赤字）



## 10. 暴風警報発令時の措置について

### ①措置内容

名古屋气象台から県内全域又は一部地域に暴風警報（以下「警報」という）が発令された場合の本連盟が主催する各種行事の取扱いは、下記のとおりとする。

### ②警報等解除時間

- ア. 午前7時までに警報が解除された場合は、予定どおり競技を行う。
- イ. 午前7時から午前9時までに警報が解除された場合は、解除後3時間が経過した時刻を目途に競技を開始する。
- ウ. 午前9時以降、県内全域又は一部地域に警報が継続されている場合は、競技を行わない。
- エ. 競技中に警報が発令された場合は、ただちに競技を中止する。
- オ. 競技の特性や会場の地理的条件等により、この申合せによりがたい場合は、各専門部で取扱いを検討し、関係する各学校に周知する。

## 11. 地震の発生が予想される場合の対応について

生徒等の安全確保のため、東海地震、東南海地震の判定会が召集された場合、又は警戒宣言が発令された場合には、その時点で当日予定した行事はすべて中止する。

この場合、「地震災害に関する警戒解除宣言」が発せられた場合等、安全が確保されることが明確になるまでは、行事は実施しない。

## 12. その他

- ①麻疹・インフルエンザの予防接種は各学校毎、済ましておくこと。
- ②申し込みに関する個人情報、組み合わせ及び結果（所属・氏名）発表以外使用しません。
- ③上位入賞者（個人・学校対抗1位～3位）は事前に承諾を得ている生徒に限り新聞発表をします。